

鵜川水系・沙流川水系流域治水プロジェクト

取組状況について

各関係機関の対応策の取組状況について

（北海道開発局室蘭開発建設部）

鷓川水系流域治水プロジェクトに基づく 令和7年度の流域治水の取組みについて

区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
対策内容	主に市街地や生産空間を洪水被害から守るための河道掘削等

実施主体：室蘭開発建設部

鷓川水系では、流域治水プロジェクトに基づき、有明地区において流下断面が不足している鷓川の河道掘削を実施し、早期に地域の安全性の向上を図るとともに、河道掘削土についてはむかわ町と連携を図り、町有地に運搬・ストックした後、市街部・農地・防災拠点施設の嵩上げに活用し、流域治水を推進。

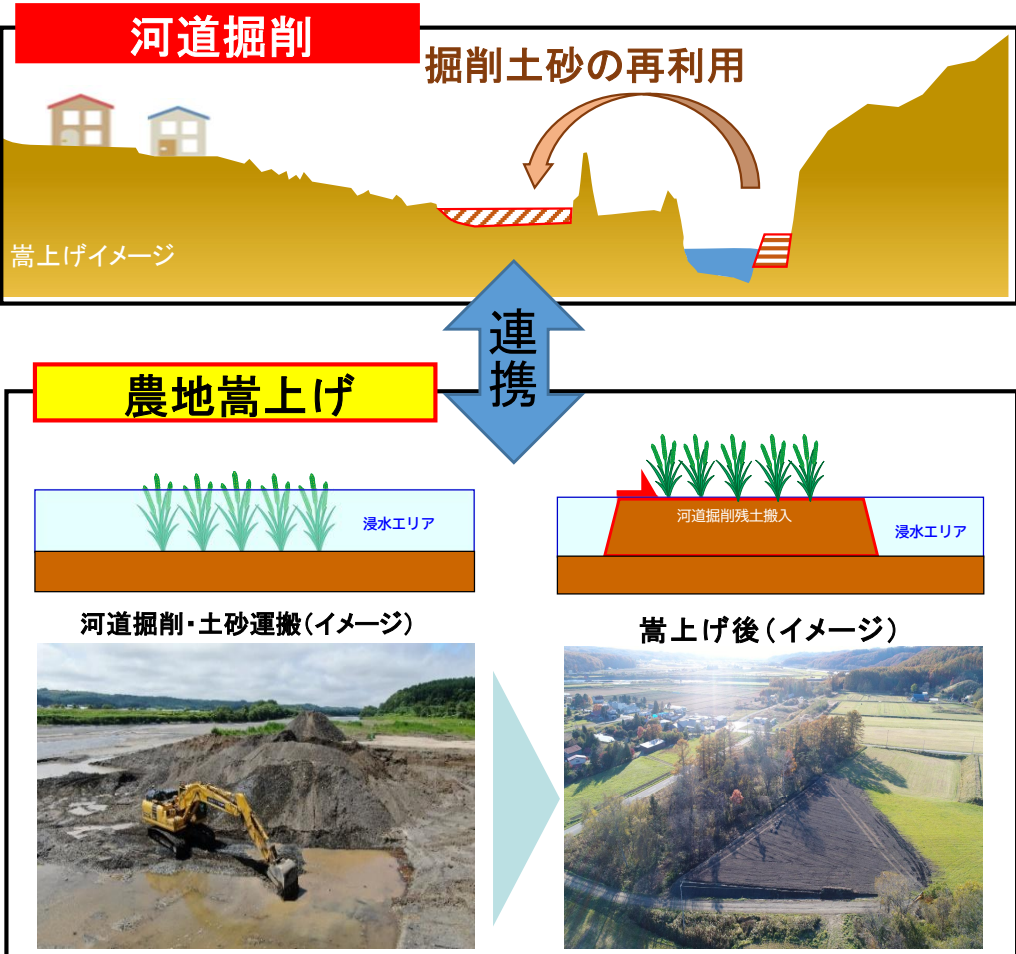
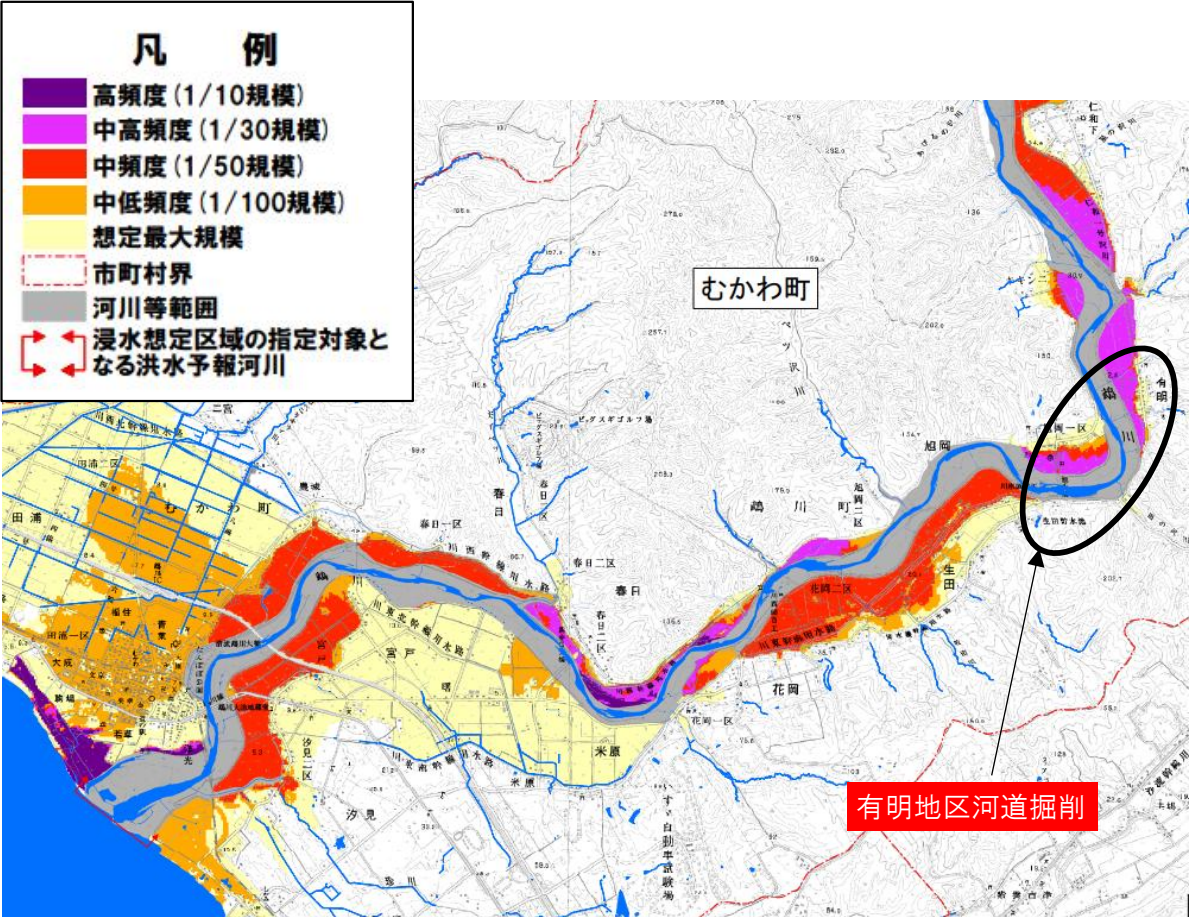


鷓川水系流域治水プロジェクトに基づく 令和7年度の流域治水の取組みについて

区分	被害対象を減少させるための対策
対策内容	掘削土砂の有効活用のための検討（農地嵩上げ）

実施主体：室蘭開発建設部

水害リスクがある地区の被害軽減に向けて、河道掘削土を有効活用した、農地嵩上げ等の検討・調整を進めている。また、嵩上げた土地は避難ヤードとしての活用なども検討中であり、浸水被害軽減が期待できる。



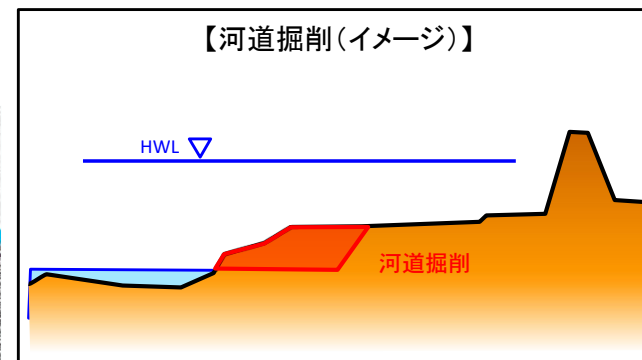
沙流川水系流域治水プロジェクトに基づく 令和7年度の流域治水の取組みについて

区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
対策内容	主に市街地や生産空間を洪水被害から守るための河道掘削等

実施主体：室蘭開発建設部

沙流川水系では、流域治水プロジェクトに基づき、平取地区において流下断面が不足している沙流川の河道掘削を実施し、河道掘削土については、下流のシシャモ産卵床区間の保全のため土砂還元の実施のほか、早期に地域の安全性向上を図るために、平取町と連携を図り、農地の嵩上げ等に活用し、流域治水を推進。

河川整備計画に基づく対応(H15.8洪水規模対応)



土砂の有効活用

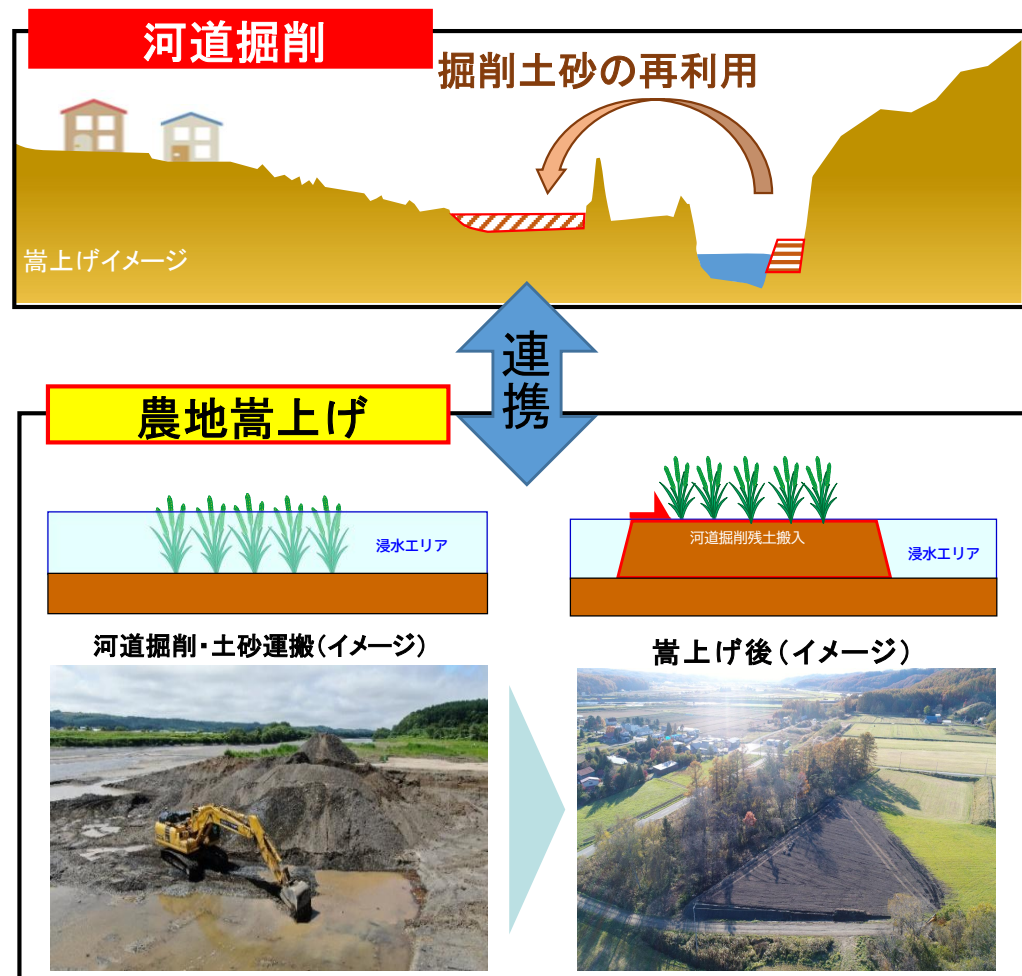
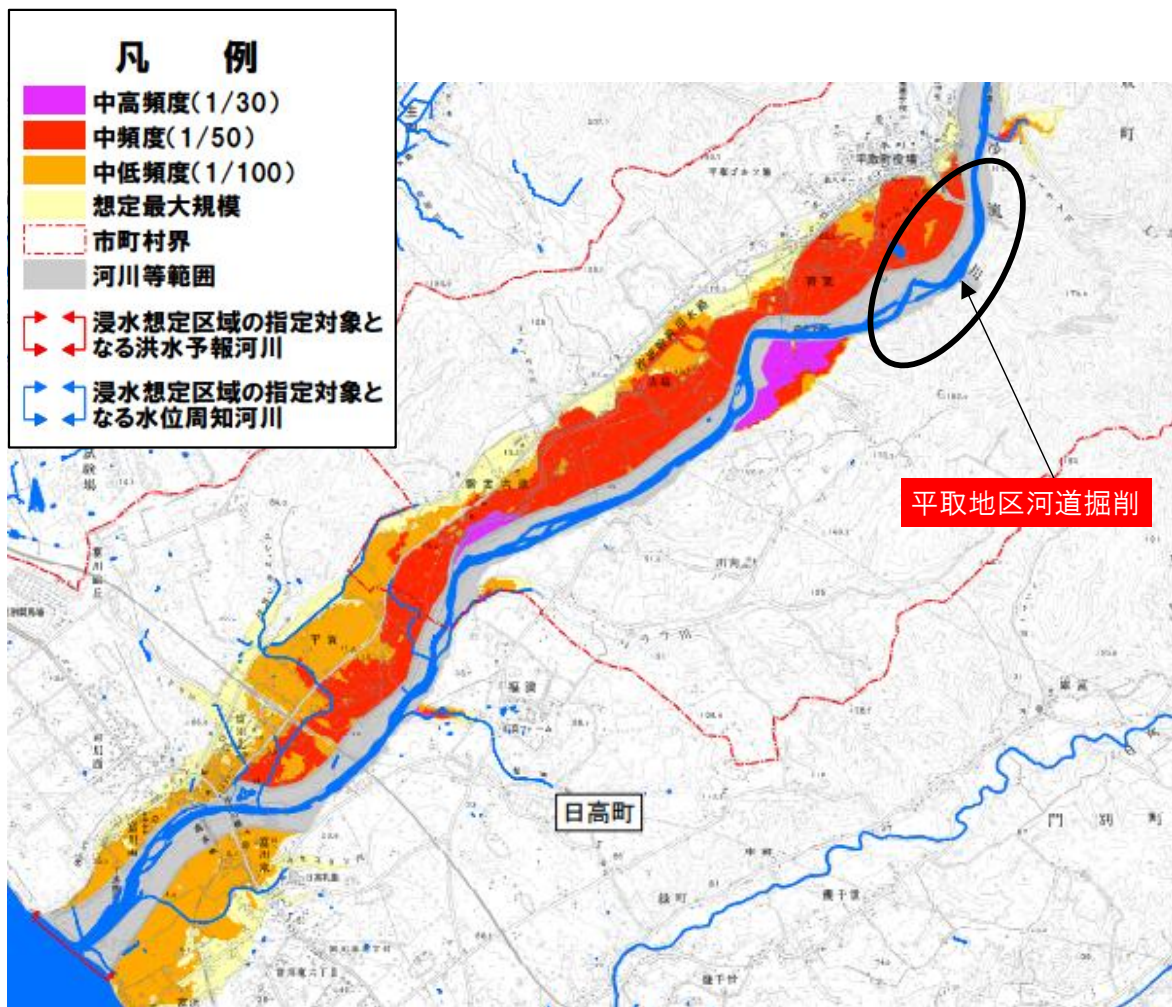
- 凡 例
- : 対策済み
 - : 5か年加速化対策（短期）
 - : R8～R12（中期）
 - : R13以降（中長期）

沙流川水系流域治水プロジェクトに基づく 令和7年度の流域治水の取組みについて

区分	被害対象を減少させるための対策
対策内容	掘削土砂の有効活用のための検討（農地嵩上げ）

実施主体：室蘭開発建設部

水害リスクがある地区の被害軽減に向けて、河道掘削土を有効活用した、農地嵩上げ等の検討・調整を進めている。また、嵩上げた土地は避難ヤードとしての活用なども検討中であり、浸水被害軽減が期待できる。



区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
対策内容	気候変動を踏まえた治水計画への見直し（2℃上昇下でも目標安全度維持）

実施主体：室蘭開発建設部

近年の気候変動や流域治水等を踏まえた鷓川水系河川整備計画および沙流川水系河川整備計画の変更にあたり、学識経験者の方々から御意見をいただくため「第2～5回鷓川・沙流川流域委員会」を実施。令和7年12月に両水系河川整備計画を変更した。

Press Release

国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

令和7年12月3日
室蘭開発建設部

ウボボイ
民間共生創生空間

いのちとくらしをまもる
防災減災

「鷓川水系河川整備計画」、「沙流川水系河川整備計画」を変更しました

北海道開発局では、「鷓川水系河川整備計画」、「沙流川水系河川整備計画」の変更に向けて、河川法第16条の2の規定に基づき手続きを進めて参りました。

今般、鷓川・沙流川流域委員会、関係住民及び北海道知事等のご意見を踏まえ、令和7年12月3日付で「鷓川水系河川整備計画」、「沙流川水系河川整備計画」を変更しましたので、お知らせします。

整備計画変更のポイントは、以下のとおりです。

- ① 近年の大規模洪水の発生、気候変動の影響に対応した河川整備
- ② 流域治水への転換を踏まえた治水対策（流域治水の取組推進）
- ③ 生物の生息、生育、繁殖の場としてもふさわしい河川整備の定量的な目標を設定

詳細については、以下の室蘭開発建設部のホームページにて公開しております。

鷓川水系河川整備計画：<https://www.hkd.mlit.go.jp/mr/tisui/t69e9e00000531.html>

沙流川水系河川整備計画：<https://www.hkd.mlit.go.jp/mr/tisui/t69e9e000005z69.html>

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 室蘭開発建設部 電話（治水課）0143-25-7045

治水課 課長	津中 昭文（内線291）	QRコード
治水課 流域治水対策専門官	大西 正容（内線407）	

室蘭開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>

国土交通省
北海道開発局

鷓川水系河川整備計画【変更】【大臣管理区間】概要

・平成21年3月に変更した鷓川水系河川整備計画について、令和7年12月に変更しました。変更のポイントは、以下のとおりです。

① 近年の大規模洪水の発生、気候変動の影響に対応した河川整備

<目標流量について>

- 下流部では、気候変動後（2℃上昇時）の状況においても平成21年（2009年）3月に変更した前河川整備計画での目標（戦後最大である平成4年（1992年）8月洪水規模）と同程度の治水安全度を確保するため、気候予測アンサンブルデータ等を踏まえ、目標流量は基準地点鷓川で3,400m³/sとする。
- 中流部では、対象期間や現在の整備状況を踏まえ、戦後最大規模の洪水である平成4年8月降雨により発生する洪水流量を安全に流下させることを目標とする。

	鷓川
現行計画	3,000(3,000)
変更計画	3,400(3,400)

※括弧内は河道配分流量(m³/s)

③ 生物の生息、生育、繁殖の場としてもふさわしい河川整備の定量的な目標を設定

<河川環境の整備と保全・創出>

➢ 河道の掘削に当たっては、保護を基本としたうえで、掘削等による改変を最小限とするなどのミティゲーションの考え方にに基づき、生息場を保全するとともに、動植物等の生息・生育・繁殖環境を創出する。

（河道掘削のイメージ図） 河岸線を残した掘削：川幅の拡幅によるシヤモ産卵環境への影響を回避
（例：下流域（シヤモ産卵区間）） 縦断的に掘削敷高を工夫：ワンド及び湿生植物の生育地を創出

河川区分	草地環境	自然裸地	水域
河口域	60ha程度	10ha程度	40ha程度
下流域	130ha程度	60ha程度	70ha程度
中流域	350ha程度	110ha程度	190ha程度
大臣管理区間	540ha程度(37%)※	180ha程度(12%)※	300ha程度(20%)※

※：%は大臣管理区間の河道面積内に占める割合を示す。

② 流域治水への転換を踏まえた治水対策（流域治水の取組推進）

気候変動の影響や社会状況の変化等を踏まえ、あらゆる関係者が協働して流域全体で行う「流域治水」への転換を推進し、洪水等による災害被害の軽減を図る。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	被害対象を減少させるための対策	被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策
 「田んぼダム」の取組促進	 河道掘削土を活用した農地の高上げ	 グループ学習によるマイ・タイムラインの作成

➢ 流域の自然環境の保全や創出を図るほか、川の中を主とした「多自然川づくり」から流域の「河川を基軸とした生態系ネットワークの形成」へと視点を拡大し、地域経済の活性化やにぎわいの創出を図る。

環境学習の実施

河川空間でのサイクリング

<河川景観の保全・創出>

中流域の丘陵高台や下流域の市街地と一体となった田園風景、河口域の干潟等、多様な景観を有する鷓川の現状を考慮し、農地・市街地・山地等と一体となった景観の保全・創出を図る。

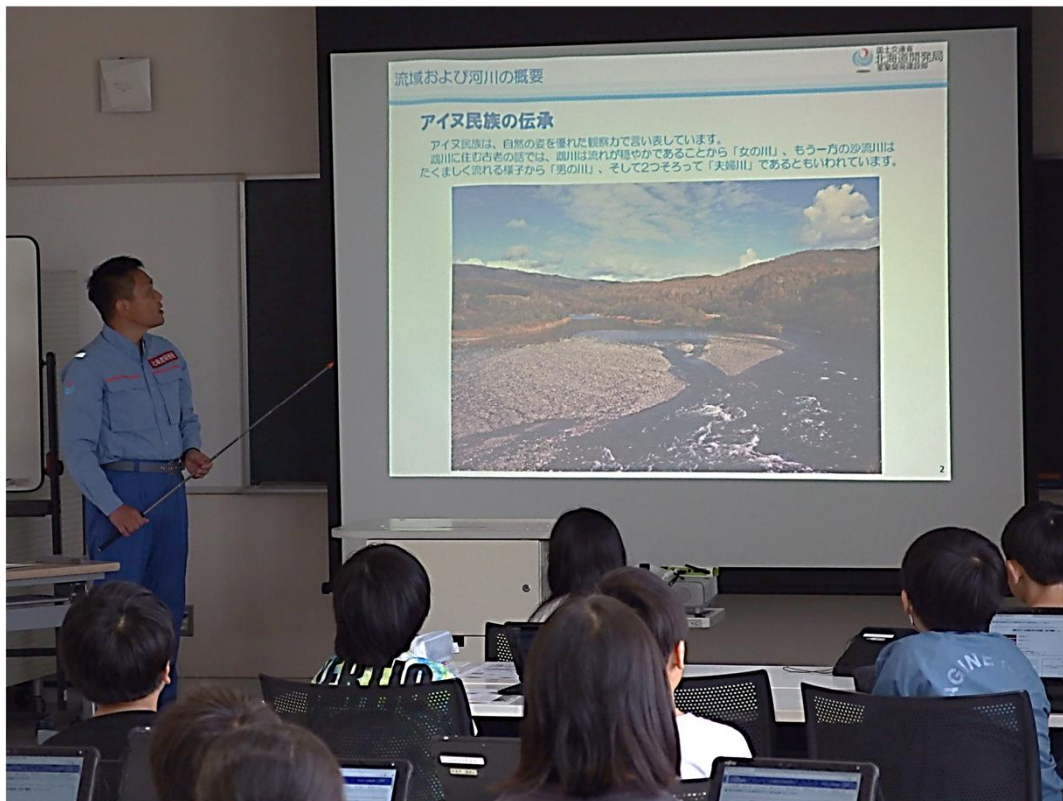
河口干潟付近に飛来するオグロシギ・ハマシギ等

鷓川水系流域治水プロジェクトに基づく 令和7年度の流域治水の取組みについて

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
対策内容	洪水等に対応したハザードマップの地域住民への周知

実施主体：室蘭開発建設部
(むかわ町)

令和7年9月5日（金）に鷓川流域の小学校を対象に、防災教育を実施し、水害の恐ろしさや洪水時の適切な対応について認識を深めてもらい、迅速・確実な避難行動を促す防災教育の取組みを実施しました。防災教育では、防災講話、防災クイズ、防災情報の調べ方、非常持ち出し品の確認、マイ・タイムラインの作成等の授業を実施した。



防災に関する講話



グループによる防災学習

鶴川水系流域治水プロジェクトに基づく 令和7年度の流域治水の取組みについて

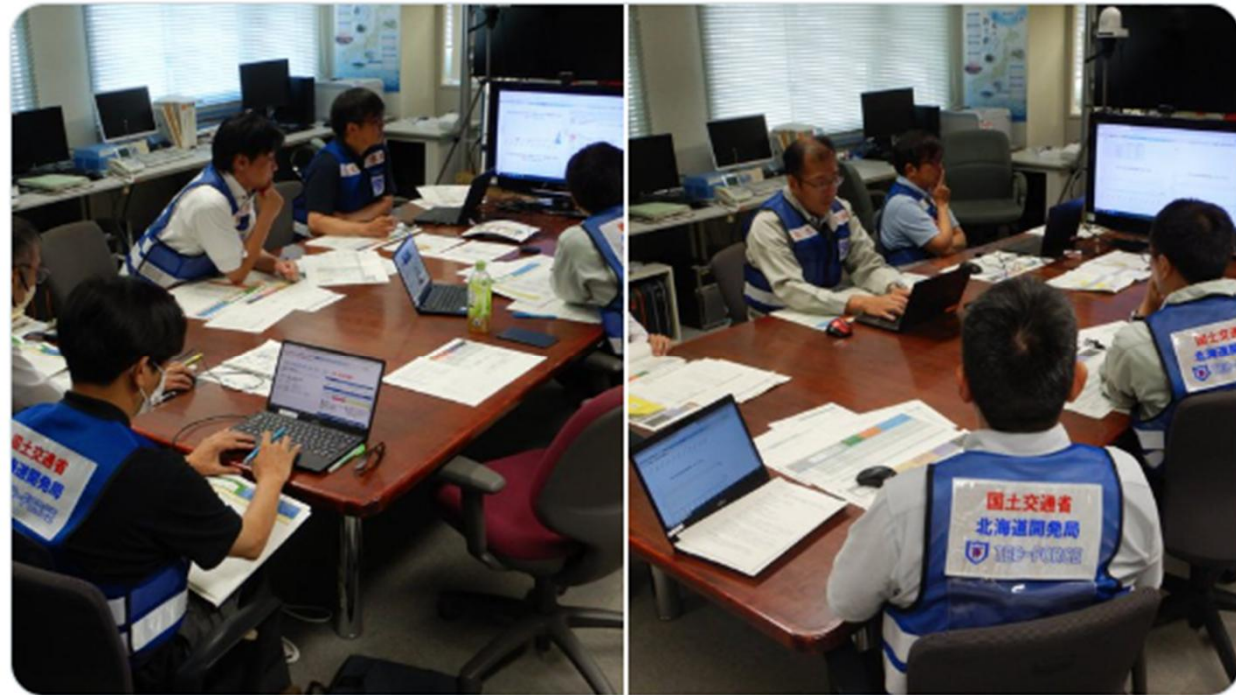
区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
対策内容	水防教育、防災意識の啓発活動

実施主体：室蘭開発建設部
(むかわ町)

令和7年7月24日(木)にむかわ町にて、各関係機関が参加した水害タイムライン運用訓練を実施。各機関とWEB形式で情報のやりとりをするなど、出水時の意思決定判断や情報伝達対応の確認を行った。



むかわ町本庁災害対策本部の状況



室蘭開発建設部での訓練状況

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
対策内容	洪水等に対応したハザードマップの地域住民への周知

実施主体：室蘭開発建設部
(日高町)

令和7年9月1日(月)に沙流川流域の小学校を対象に、防災教育を実施し、水害の恐ろしさや洪水時の適切な対応について認識を深めてもらい、迅速・確実な避難行動を促す防災教育の取組みを実施。防災教育では、防災講話、防災クイズ、防災情報の調べ方、非常持ち出し品の確認、マイ・タイムラインの作成等の授業を実施。



防災に関する講話



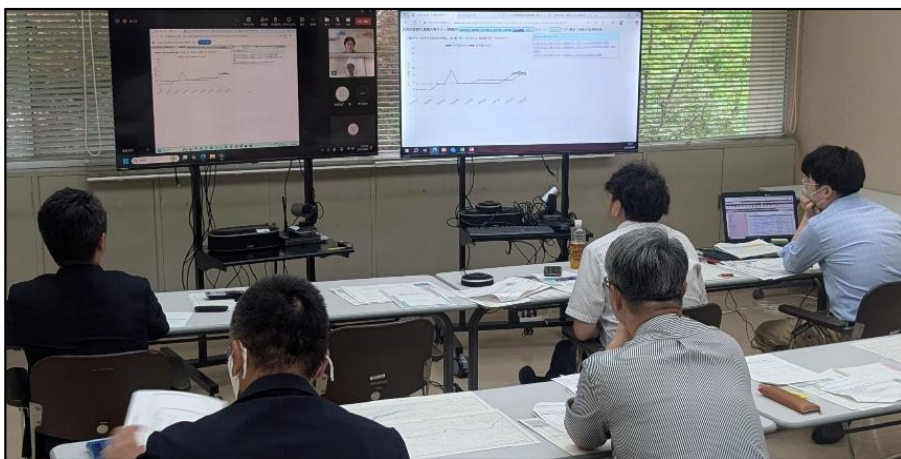
グループによる防災学習

沙流川水系流域治水プロジェクトに基づく 令和7年度の流域治水の取組みについて

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
対策内容	水防教育、防災意識の啓発活動

実施主体：室蘭開発建設部
(平取町・日高町)

令和7年8月4日(月)に平取町、日高町にて、各関係機関が参加した水害タイムライン運用訓練を実施。各機関とWEB形式で情報のやりとりをするなど、出水時の意思決定判断や情報伝達対応の確認を行った。



平取町災害対策本部の状況



日高町災害対策本部の状況



室蘭開発建設部での訓練状況

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
対策内容	水防教育、防災意識の啓発活動

実施主体：室蘭開発建設部

流域治水について多くの方々に知っていただくため、他事業のパネル展と連携し、自治体の広報スペースを活用した、鷓川・沙流川の水災害リスクと流域治水のパネル展を実施しました。



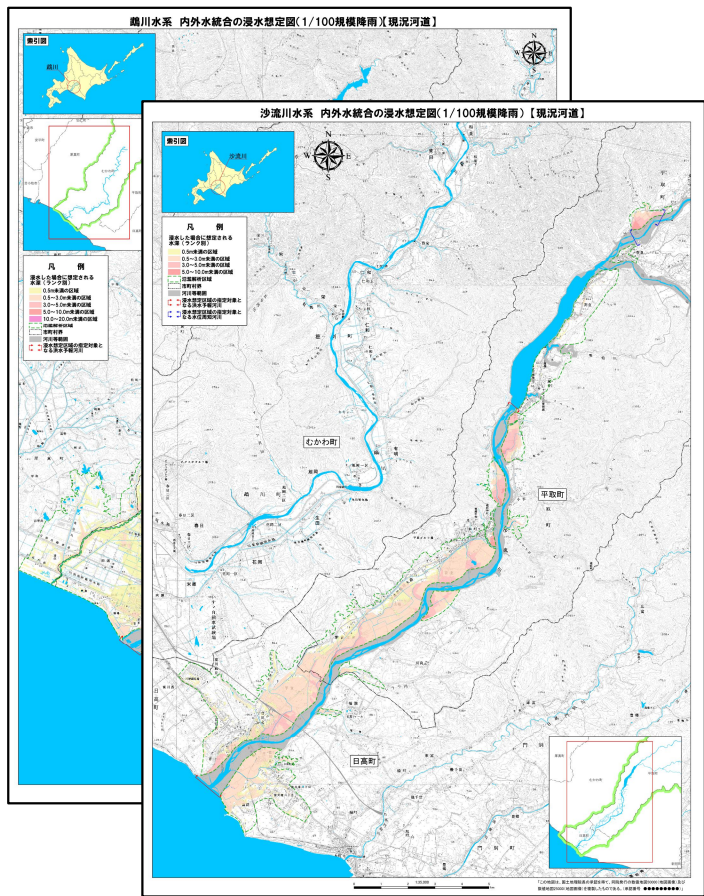
パネル展の開催状況

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
対策内容	まちづくりでの活用を視野にした多段的な浸水リスク情報の検討（水害リスクマップ）

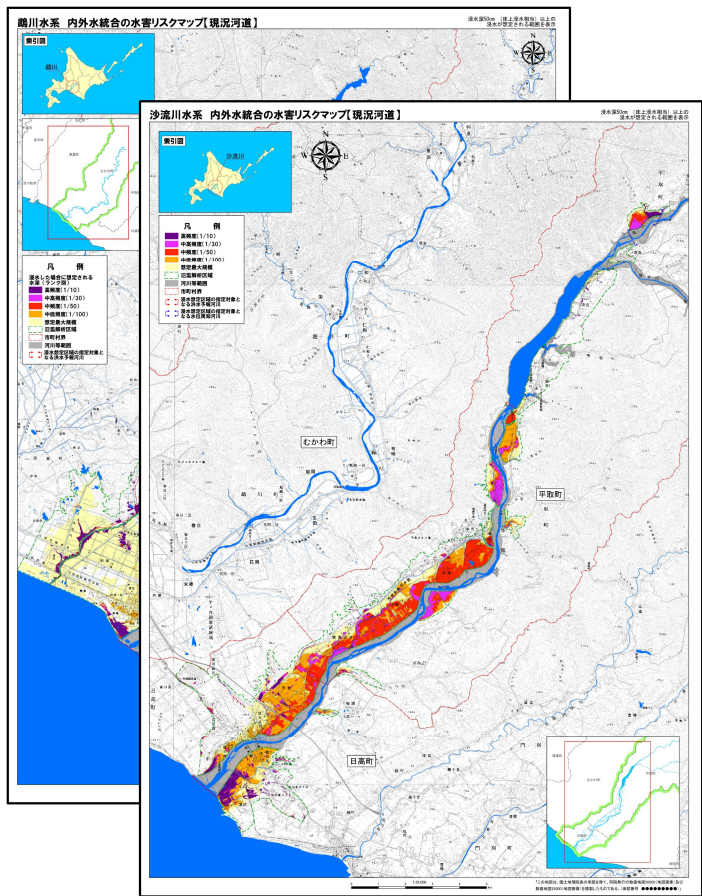
実施主体：室蘭開発建設部

土地利用や住まい方の工夫の検討及び水災害リスクを踏まえた防災まちづくりの検討など、流域治水の取組を推進することを目的として、中長期河道の整備条件による「多段階浸水想定図」及び「水害リスクマップ」を令和5年3月31日に公表。さらに、内外水一体型の「多段階浸水想定図」及び「水害リスクマップ」を令和7年度末に作成・公表。

◇内外水統合の多段階の浸水想定図



◇内外水統合の水害リスクマップ



重ね合わせ

◆水害リスクマップの活用例

- **まちづくり**
 - ・ 都市計画・立地適正化計画等（開発規制や居住誘導等）での活用
 - ・ 住まい方の工夫、防災まちづくり
- **治水対策**
 - ・ 流域対策も含めた事業効果の見える化
- **避難行動**
 - ・ 浸水頻度を踏まえた避難路等の設定
 - ・ 避難計画の検討
- **企業BCP（事業継続計画）（Business Continuity Plan）**
 - ・ 浸水頻度、浸水深に応じた計画策定
 - ・ 避難計画の検討

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
対策内容	防災意識の啓発活動

実施主体：室蘭開発建設部
(内閣府・国土交通省)

地域で発生した災害の状況をわかりやすく伝える施設や災害の教訓を伝承する活動などを「NIPPON防災資産」として令和6年5月に制度化された。この制度を通じ、それぞれの地域で過去の災害の教訓や今後の備えに対する理解が深まり、災害リスクの自分事化が推進され、地域の防災力の向上に繋がっていくことも期待される。この制度を広めていくために、令和7年10月にNIPPON防災資産のパンフレットを作成・公表した。

《NIPPON防災資産パンフレット》



災害伝承に関する良質な施設や活動の普及・拡大



内閣府 国土交通省

認定案件

NIPPON防災資産



1 洞爺湖有珠火山マイスター

地域の魅力と、災害の記憶の両方をマイスターがみんなに伝える

2 奥尻島津波館及び奥尻島津波語り部隊

被災体験、復興経験、災害当時の役割職員や町民が伝える

3 厚真町震災学習プログラム

被災地ガイドや高齢者巡遊体験で震災を伝承、被災者も語り部になる

1 洞爺湖有珠火山マイスター

洞爺湖有珠火山マイスターが地域の魅力を伝える

洞爺湖有珠火山マイスターは、洞爺湖有珠火山の歴史や自然の魅力を伝えるだけでなく、過去の災害の教訓や復興の取り組みについても伝える。洞爺湖有珠火山マイスターは、洞爺湖有珠火山の歴史や自然の魅力を伝えるだけでなく、過去の災害の教訓や復興の取り組みについても伝える。

1 奥尻島津波館及び奥尻島津波語り部隊

被災体験、復興経験、災害当時の役割職員や町民が伝える

奥尻島津波館は、奥尻島の歴史や自然の魅力を伝えるだけでなく、過去の災害の教訓や復興の取り組みについても伝える。奥尻島津波語り部隊は、被災者の体験や復興の取り組みについて語り部として伝える。

2 厚真町震災学習プログラム

被災地ガイドや高齢者巡遊体験で震災を伝承、被災者も語り部になる

厚真町震災学習プログラムは、被災地の歴史や自然の魅力を伝えるだけでなく、過去の災害の教訓や復興の取り組みについても伝える。被災地ガイドや高齢者巡遊体験を通じて、被災者の体験や復興の取り組みについて学ぶ。

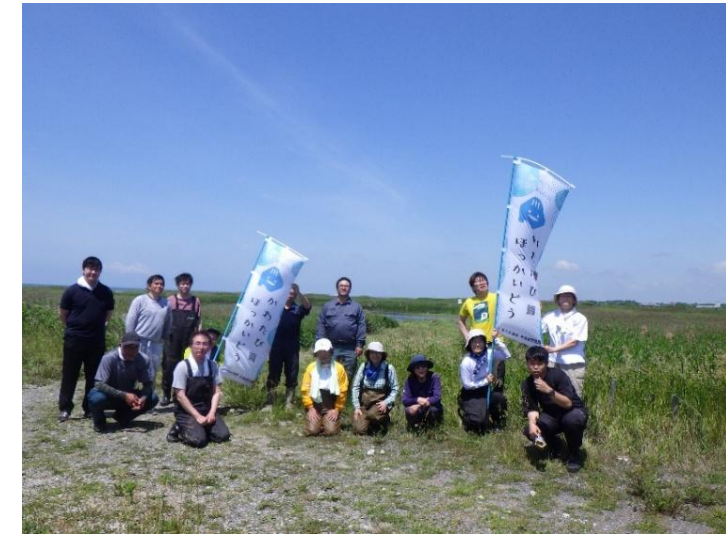
区分	生物の多様な生息・生育環境の創出による生態系ネットワークの形成
対策内容	シギ・チドリ類など水鳥の採餌場、休憩地（中継地）としての河口干潟の機能を保全

実施主体：室蘭開発建設部

鷓川の河川協力団体「ネイチャー研究会inむかわ」が、特徴的で自然豊かな環境と自然景観を後世に伝える活動として、長年にわたって人工干潟の除草作業などを継続してきたことで、地域の振興や環境啓発に大きく寄与しているとして、土木学会より第18回土木学会北海道支部地域活動賞を受賞。



受賞した盾



除草作業の様子

区分	魅力ある水辺空間・賑わいの創出
対策内容	水辺の賑わい空間創出

実施主体：室蘭開発建設部

令和7年6月8日（土）に沙流川の平取親水公園周辺でゴミ収集活動を開催。この活動は、平成21年度から毎年継続して実施され、河川協力団体としての活動内容にもなっている。
 活動の場所は、日頃から、水辺の風景と遠くの山々を見ながらウォーキングやジョギングにも利用されている沙流川の河川敷であり、この場所は、平取親水公園と平取地域イオル再生事業と連携した「平取町かわまちづくり」のアイヌ文化有用植物育成などを行う水辺空間として整備・活動が行われている。



↑
作業状況→



参加者

鷓川・沙流川水系流域治水プロジェクトに基づく 令和7年度の流域治水の取組みについて

区分	かわたびほっかいどう
対策内容	魅力的な水辺空間のPRや水辺利活用を促進し、地域振興を図る

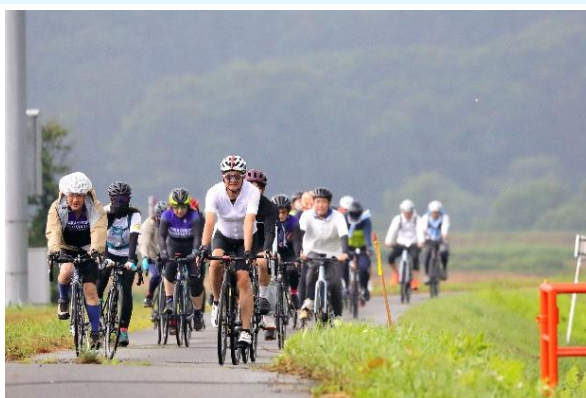
実施主体：室蘭開発建設部

令和7年7月27日（日）に、日高サイクリング協会と連携し、鷓川・沙流川の河川堤防を活用した取り組みとして、サイクリングイベントを通し、地域資源を活用した観光コンテンツの創出を図っている。

サイクリングマップ



参加者



堤防天端を利用したサイクリングルート



シーニックバイウェイとの連携（アイヌ文化の振興）

各関係機関の対応策の取組状況について

（室蘭地方気象台・旭川地方気象台）

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
対策内容	防災気象情報の利活用促進

実施主体：室蘭地方気象台
旭川地方気象台

■ 防災気象情報の体系整理に向けた情報整理ならびに市町村との調整

● 防災情報に関する説明会の実施

段階的に発表する防災気象情報と気象台の対応

気象台から災害発生への危機感、今後の見直し等を発信

レベル5 特別警報!!

レベル4 危険警報!!

レベル3 警報!!

レベル2 注意報!!

レベル1 早期注意情報



警戒レベル相当情報（警報等）【改善後】

● 防災気象情報（大雨洪水、河川氾濫、土砂災害、高潮）を5段階の警戒レベルにあわせて発表。
● 対象災害への情報として整理するとともに、レベル4相当の情報として危険警報を新設。
● 情報名称そのものにレベルの数字を付けて発表。（例：レベル4 大雨危険警報等）
● 情報と対応する防災行動との関係が明確に。（レベルの数字で、とるべき行動が分かる！）

警戒レベル	大雨洪水	河川氾濫	土砂災害	高潮	住民が取るべき行動
5	レベル5 大雨特別警報	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保！
4	レベル4 大雨危険警報	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
3	レベル3 大雨警報	レベル3 氾濫警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難の準備など
2	レベル2 大雨注意報	レベル2 氾濫注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認（避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど）
1	早期注意情報				災害への心構えを高める



● 自治体防災担当者との懇談

大雨洪水に関する情報【改善案】

現在

大雨特別警報（浸水害）

大雨警報（浸水害）

大雨注意報（浸水害）

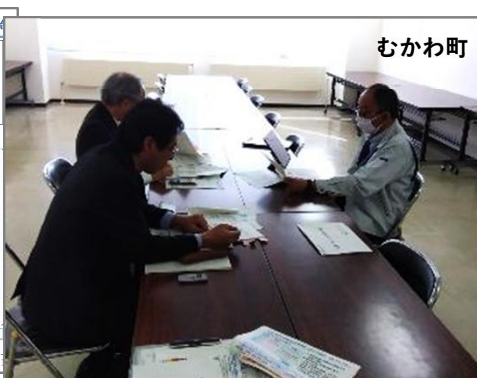
今後

レベル5 大雨特別警報

レベル4 大雨危険警報

レベル3 大雨警報

レベル2 大雨注意報



洪水等に関する情報の主な変更点

● 洪水に関する情報は、洪水予報河川のみを対象とした河川ごとの情報として、これを一般向けの警戒レベルにする。これまでの気象台による市町村ごとの洪水警報・注意報の発表は行わない。
● 水位周知河川の水位の情報は、当番はこれまで通りの運用とする。（水位の実況情報に洪水危険度や付して情報発表することは当番は行わない。）
● 浸水害を対象とした大雨特別警報・警報・注意報は、大雨に関する情報として警戒レベルに整理し、警戒レベル相当情報として位置づけ。洪水予報河川以外の河川についても大雨に関する情報の中で一貫して扱う。（水位周知河川も大雨の情報の中で扱う。）

分類	洪水予報河川	水位周知河川	左記以外の河川に含む洪水被害等	大雨に関する情報
河川	約400河川			
発表主体	河川事務所または観測所など			
発表単位	河川ごと			
対象する災害種別	外水氾濫			
発表内容	水位（実況・予報）			
情報名称	レベル5 氾濫特別警報	レベル4 氾濫危険警報	レベル3 氾濫警報	レベル2 氾濫注意報
情報区分	レベル5 大雨特別警報	レベル4 大雨危険警報	レベル3 大雨警報	レベル2 大雨注意報
1	早期注意情報			

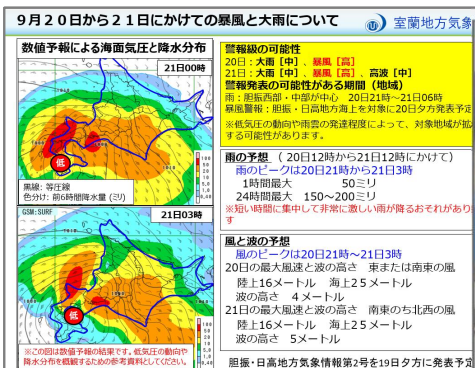


区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
対策内容	防災気象情報の利活用促進、住民参加による防災訓練の実施

実施主体：室蘭地方気象台
旭川地方気象台

■悪天時における担当者向け防災メール及び気象解説

●防災担当者向けへの防災メール及び気象解説

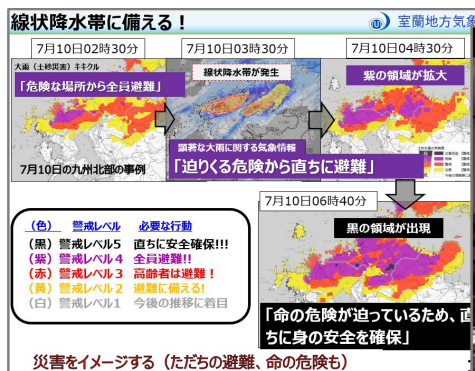


●オンライン方式（防災連携TV）での気象解説



■関係機関の職員及び住民を対象とした講習会

●北海道地域防災マスター 認定フォローアップ研修会における講義



区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
対策内容	防災気象情報の利活用促進

実施主体：室蘭地方気象台
旭川地方気象台

■XなどのSNS,ホームページを活用した防災知識の普及啓発

●X（エックス）を利用した防災知識の普及啓発

室蘭地方気象台 @JMA_Muroran

室蘭地方気象台の公式アカウントです。気象庁ソーシャルメディアアカウント運用ポリシーに準拠して運用しています。個別の返信等はいりませんのでご了承ください。

9 フォロー 345 フォロワー

札幌管区気象台さん、onちゃん天気・防災さん、近藤 肇（気象予報士）さん、他2人さんにフォローされています

ポスト 返信 メディア

固定

室蘭地方気象台 @JMA... · 2024年03月25日 : 災害の発生が心配される場合には、「ここを見て！～大切な命を守るために～」をご覧ください。大雨が心配なとき、暑さや寒さが心配なときなど一目でわかる情報を掲載していますのでご利用ください。
data.jma.go.jp/muroran/shosai...

X 室蘭地方気象台

●気象台ホームページを活用した普及啓発

旭川地方気象台
Muroran Local Meteorological Office, JMA

気象庁ホーム > 地域の情報 > 上川・留萌地方

最新の情報

- 防災気象情報
- 天気予報
- 地震・火山情報

ピックアップ情報

時系列情報（明日までの警報等の見通し） 国土交通省

- 令和8年度の新たな防災気象情報の運用開始に合わせ、新たに「時系列情報（明日までの警報等の見通し）」を提供します。
- 時系列情報は、警報・注意報に先立って気象の見通しを二次細分単位（+山地等の分割地域）で提供する予測情報です。
 - 警報・注意報の発表に関わらず、時系列情報の対象とする全要素※について、翌日までの3時間毎または日毎の気象状況の見通しを、毎日4回（05時、11時、17時、23時）提供※対象要素：大雨、土砂災害、風、波、高潮、雷、乾燥、大雪、融雪、濃霧、着水、着雪、なだれ、低温、霜（下線部の要素は日毎の見通しを提示）
 - 気象庁ホームページでは常時表示、定期的に更新（上記の4回）
 - 定期的な更新以外にも、当初の想定から今後の見通しが大きく変わった場合などには、必要に応じて随時修正情報を発表（気象庁ホームページの時系列情報も更新）

時系列情報のイメージ

気象要素	05時	11時	17時	23時	翌日05時	翌日11時	翌日17時	翌日23時	翌々日05時
大雨	注意	注意	注意	注意	注意	注意	注意	注意	注意
土砂災害	注意	注意	注意	注意	注意	注意	注意	注意	注意
風	注意	注意	注意	注意	注意	注意	注意	注意	注意
波	注意	注意	注意	注意	注意	注意	注意	注意	注意
高潮	注意	注意	注意	注意	注意	注意	注意	注意	注意
雷	注意	注意	注意	注意	注意	注意	注意	注意	注意
乾燥	注意	注意	注意	注意	注意	注意	注意	注意	注意
大雪	注意	注意	注意	注意	注意	注意	注意	注意	注意
融雪	注意	注意	注意	注意	注意	注意	注意	注意	注意
濃霧	注意	注意	注意	注意	注意	注意	注意	注意	注意
着水	注意	注意	注意	注意	注意	注意	注意	注意	注意
着雪	注意	注意	注意	注意	注意	注意	注意	注意	注意
なだれ	注意	注意	注意	注意	注意	注意	注意	注意	注意
低温	注意	注意	注意	注意	注意	注意	注意	注意	注意
霜	注意	注意	注意	注意	注意	注意	注意	注意	注意

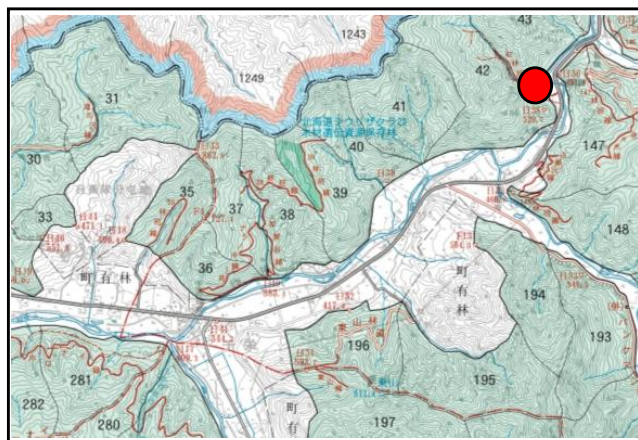
■ 災害切迫 特別警報基準を超えると予想される時間帯
 ■ 危険 危険警報基準を超えると予想される時間帯（土砂災害、高潮については、危険警報発表の可能性のある時間帯）
 ■ 警戒 警報基準を超えると予想される時間帯（土砂災害、高潮については、警報発表の可能性のある時間帯）
 ■ 注意 注意報基準を超えると予想される時間帯（高潮については、注意報発表の可能性のある時間帯）

各関係機関の対応策の取組状況について

（日高北部森林管理署）

区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
対策内容	山地災害から流域を守る治山対策

実施主体：北海道森林管理局
日高北部森林管理署



位置図

○山脚の安定化と土砂流出の抑制を図る治山ダムの設置
・土砂流出抑制のためのコンクリート谷止工の補修及び副ダム新設

「日栄沢治山工事」

施工場所：沙流郡日高町千栄

(保全対象は、国道274号日栄橋)



施工前



施工後

区分	グリーンインフラの整備
対策内容	森林の水源涵養機能維持・向上のための森林整備

実施主体：北海道森林管理局
日高北部森林管理署

- 水源涵養等の森林の有する公益的機能を維持・増進するための森林整備事業を実施
- ①複層林誘導箇所等における森林の確実な更新
(大型機械地拵え、低密度植栽、機械下刈り等による造育林コストの低減に向けた取組等を推進)
 - ②複数の樹冠層に誘導するための複層伐の実施
(適切な施業の実施により得られた木材を安定的に供給することで、地域の林業・木材産業の活性化にも寄与)

沙流郡平取町 振内国有林



複層林へ誘導する箇所における機械下刈作業に対応した1条植の実施

沙流郡平取町 宿主別国有林



複層伐(伐採幅40m)

区分	生物の多様な生息・生息環境の創出による生態系ネットワークの形成
対策内容	地域住民・関係機関と連携した魚類等の生息環境の保全

実施主体：北海道森林管理局
日高北部森林管理署

○シマフクロウや魚類の生息環境の再生

- ・魚類等の生息環境を改善するため、既設治山ダムを改良し魚道を設置
「チマルラの沢治山工事」(仁世宇川水系チマルラの沢)

形式：張出・引込型魚道

全長：37.3m

施工場所：沙流郡平取町字仁世宇



施工前



施工後(張出部)

区分	生物の多様な生息・生息環境の創出による生態系ネットワークの形成
対策内容	地域住民・関係機関と連携した魚類等の生息環境の保全

実施主体：北海道森林管理局
日高北部森林管理署

○シマフクロウや魚類の生息環境の再生

- ・魚類等の生息環境を改善するため、既設治山ダムの改良測量・設計業務を実施

「シュータの沢治山工事実施測量及び設計業務」（仁世宇川水系シューター川）

施工場所：沙流郡平取町字仁世宇

R8改良工事（魚道）施工予定



既設治山ダム



仁世宇川水系に遡上するサクラマス(R7.9)

区分	生物の多様な生息・生息環境の創出による生態系ネットワークの形成
対策内容	地域住民・関係機関と連携した魚類等の生息環境の保全

実施主体：北海道森林管理局
日高北部森林管理署

○シマフクロウや魚類の生息環境の再生

- ・魚類等の生息環境を改善するため、林道横断箇所におけるコルゲート管吐口の改良
→コルゲート管設置箇所における吐口部分の落差解消として碎石ネットを敷設

施工場所：沙流郡平取町字仁世宇

シュータの沢支線林道（仁世宇川水系シューター川）



施工前(R7.11)



施工後(R7.12)

区分	生物の多様な生息・生息環境の創出による生態系ネットワークの形成
対策内容	地域住民・関係機関と連携した魚類等の生息環境の保全

実施主体：北海道森林管理局
日高北部森林管理署

○シマフクロウや魚類の生息環境の再生

- ・魚類等の生息環境を改善するため、既設治山ダムを改良し魚道を設置

R6施工「アベツ川治山工事」

形式：引込式石積み魚道

全長：20.0m

→R7.9 ダム上流部において40年ぶりとなるサクラマスの遡上及び産卵行動を確認



アベツ川治山工事(施工後)



アベツ川上流で産卵したサクラマス(R7.9)



○ サクラマス
○ ヤマメ(オス)

魚道上流部におけるサクラマスの産卵行動(R7.9)

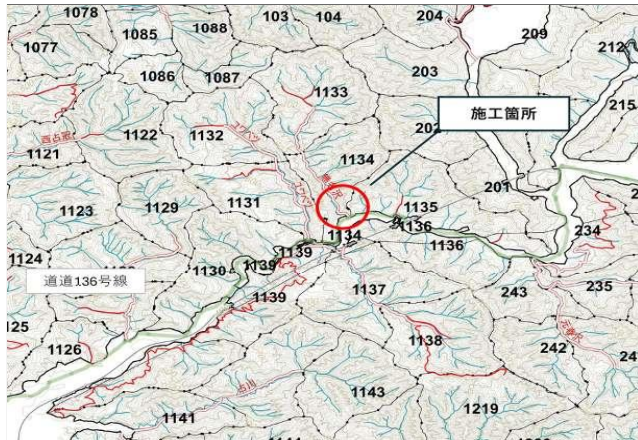
画像提供：(株)平取町アイヌ文化振興公社

各関係機関の対応策の取組状況について

（上川南部森林管理署）

区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
対策内容	山地災害から流域を守る治山対策

実施主体：北海道森林管理局
上川南部森林管理署



位置図

谷止工

土砂流出防止の適切な発揮に向け、老朽化した堰堤の決壊により堆積している土砂の流出を防ぎ溪床の安定化のため復旧治山事業を実施。



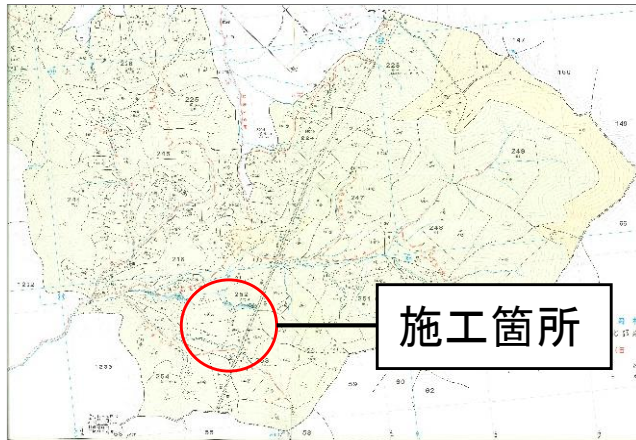
実施前



実施後

区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
対策内容	山地災害から流域を守る治山対策

実施主体：北海道森林管理局
上川南部森林管理署



位置図

森林整備
水源かん養及び土砂流出防止等森林の持つ公益的機能の維持・増進に向けて下刈りを実施。



実施前



実施後

各関係機関の対応策の取組状況について

（胆振東部森林管理署）

区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
対策内容	森林の水源涵養機能維持・向上のための森林整備

実施主体：胆振東部森林管理署



位置図

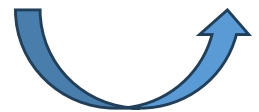
【森林の水源涵養機能維持・向上のための森林整備・保全対策】

- ・前年度に実施した地拵（植栽箇所の整地および林地残材の整理）箇所において植栽を行い、あわせて適切な間伐を実施することにより、残存木の直径成長が促進される。
- また、間伐による林内照度の向上によって下層植生が繁茂し、水源涵養機能や土砂流出防止機能が向上。



間伐前

間伐後



植栽前

植栽後



各関係機関の対応策の取組状況について

（胆振総合振興局）

沙流川水系流域治水プロジェクトに基づく 令和7年度の流域治水の取組みについて

区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
対策内容	河道掘削、樹木伐採

実施主体：胆振総合振興局
室蘭建設管理部

河道掘削 着工前(沙流川)



河道掘削 完成(沙流川)



河道掘削 (沙流川)



河道内伐木 (沙流川)



河道内伐木 完成(沙流川)



区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
対策内容	山地災害から流域を守る治山対策

実施主体：胆振総合振興局
産業振興部林務課



位置図

穂別栄2地区復旧治山事業
道道59号及び農地等の山地災害被害軽減のため、土留工を設置し山腹斜面对策を実施



着手前



実施後

区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
対策内容	森林の水源涵養機能維持・向上のための森林整備

実施主体：胆振総合振興局
産業振興部林務課



位置図

森林の水源涵養機能維持・向上のために植栽を実施



着手前



実施後

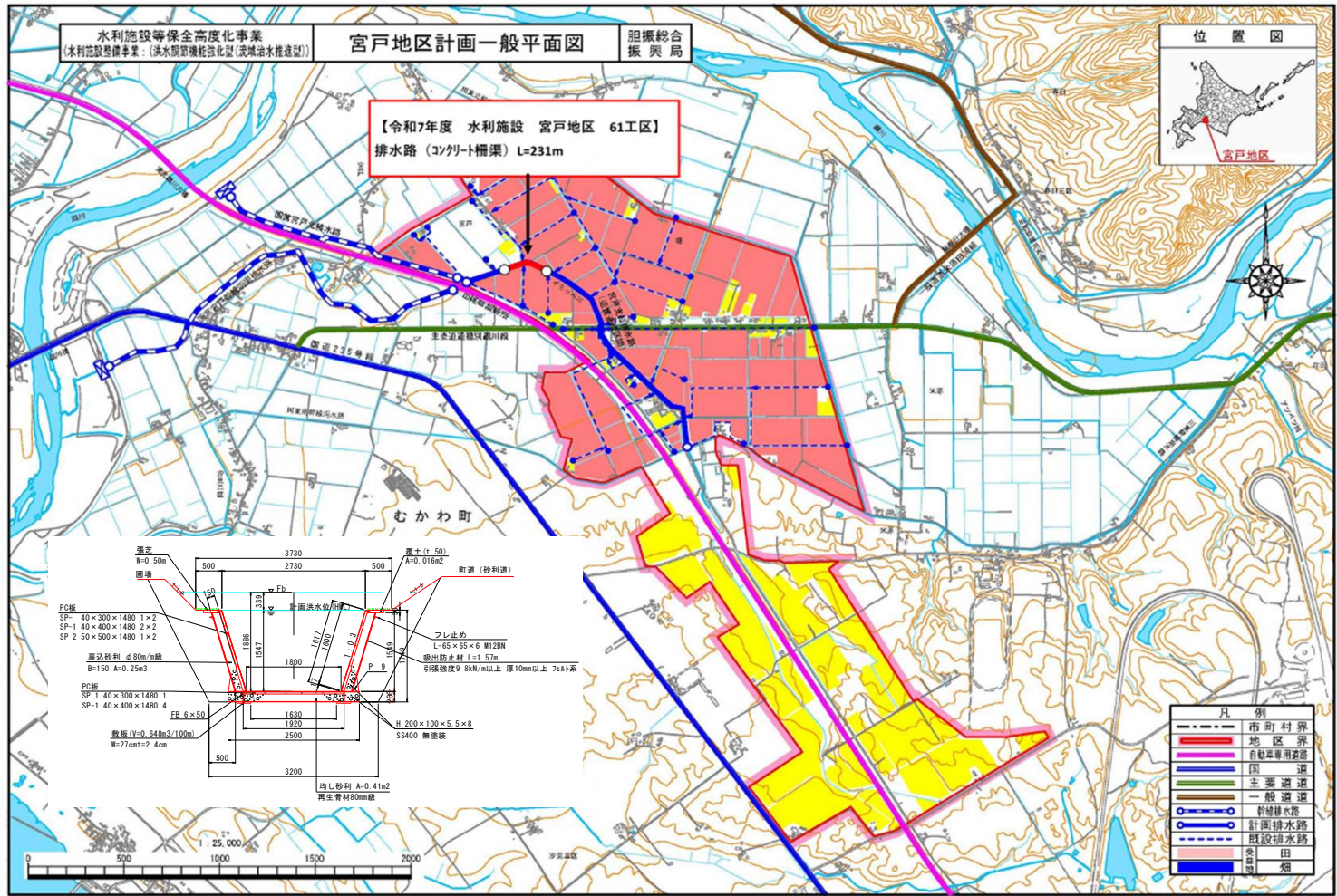
鵜川水系流域治水プロジェクトに基づく 令和7年度の流域治水の取組みについて

区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
対策内容	農地を浸水被害から守るための排水路整備

実施主体：胆振総合振興局
農村振興課

位置図

農業用排水路の整備 コンクリート柵渠設置 L=231m



↓
着手前



実施後

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
対策内容	水防教育、防災意識の啓発活動

実施主体：胆振総合振興局
地域創生部 危機対策室



胆振総合振興局ホームページにおける防災ページをリニューアル。よりわかりやすい防災情報の発信・拡充を今後も継続。

住民参加の勉強会等を通じた「Doはぐ」や広報活動の実施。
(令和8年1月29日 住民勉強会開催)



地域の防災活動のリーダーとなる「北海道地域防災マスター」の地域防災活動促進、必要知識向上のため「北海道地域防災マスターフォローアップ研修」を開催（令和7年(2025年)10月4日開催）

各関係機関の対応策の取組状況について

（上川総合振興局）

区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
対策内容	河道内伐木

実施主体：上川総合振興局管内
旭川建設管理部

河道内伐木（鷓川 占冠村）

R7 施工箇所



着手前



伐木完了

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
対策内容	洪水等に対応したハザードマップの地域住民への周知 住民参加による防災訓練の実施

実施主体：上川総合振興局
地域創生部 危機対策室

○1日防災学校の企画・支援
○市町村が実施する訓練・研修・講習会等への支援

- 1日防災学校では、ハザードマップ（リスクの空白地、分散避難、立ち退き避難・屋内安全確保等にも付言）や、逃げ遅れの原因となる心理状態（正常性バイアス）等について、クイズやグループ討議等により理解を促し、地域防災力の強化につなげる。
- 市町村が実施する災害対策本部訓練、避難所運営訓練の企画・実施を支援し、災害対応力の向上に寄与。

令和7年度に上川管内で実施した各種支援

日時	訓練名	対象者
7/6	和寒町防災研修会	住民
7/15	幌加内中学校 1日防災学校	中学生、教員
7/28	幌加内町災害対策懇談会	関係機関、住民
8/3	富良野市災害対策本部訓練	職員、関係機関、住民
8/28	東神楽小学校 1日防災学校	小学生
9/1	和寒中学校 1日防災学校	中学生、教員
9/5	比布中央学校 1日防災学校	小・中学生、保護者、関係機関
11/4	大雪山火山噴火防災訓練	職員、関係機関
11/5	中富良野町住民避難訓練	職員、関係機関、住民
2/17.18	十勝岳火山噴火総合防災訓練	職員、関係機関、住民



東神楽小学校 1日防災学校



富良野市災害対策本部訓練

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
対策内容	水防教育、防災意識の啓発活動

実施主体：上川総合振興局
地域創生部 危機対策室

○ 防災に関する各種研修会の開催

- 平常時や災害時における防災知識を習得し、地域における防災活動のリーダーとして地域防災活動を推進する「北海道地域防災マスター」を育成するため、新規認定研修会や、マスター登録者の知識の向上等を目的としたフォローアップ研修を開催。
- 道民の方々に避難所生活や避難所運営を自分事としてとらえ、地域の防災対策の課題をみつけやすくすることを目的に道が作成している、「避難所運営ゲーム(HUG)北海道2025(愛称：Doはぐ)」の実施に必要な講師を養成する研修会を開催。



Doはぐとは？
真冬に直下型地震が発生し、電気等が使えない避難所を運営するという想定のもと、250枚のカードで示された様々な条件を、グループで話し合っ解決していく防災教育カードゲーム。

←Doはぐセット



←各種研修会開催の様子

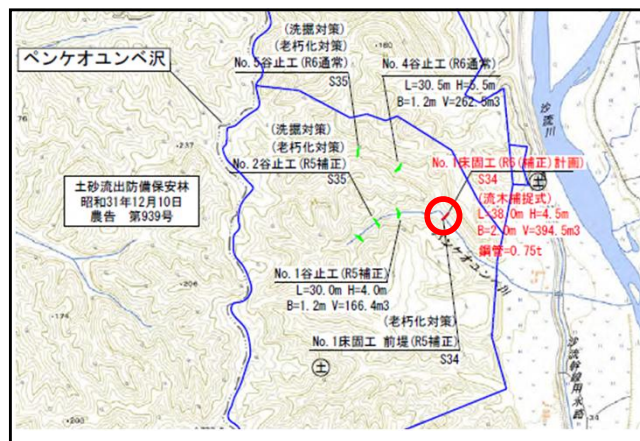
(左)Doはぐ講師養成研修会 in 美瑛 2025
(中)防災マスター認定研修会 in 中富良野町
(右)防災マスターフォローアップ研修 in 富良野

各関係機関の対応策の取組状況について

（日高振興局）

区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
対策内容	山地災害から流域を守る治山対策

実施主体：日高振興局林務課



位置図

・平取町本町（ペンケオユンベ沢）の荒廃した溪流において、老朽化した治山ダム1基の改良を実施した。



着手前

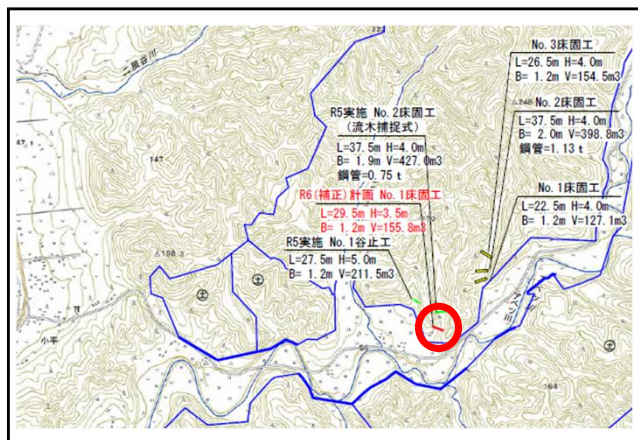


実施後

工事名 沙流川流域地区復旧治山工事
 工種 橋脚
 始期月日 7.9.26 完成
 位置 ペンケオユンベ沢
 設計手法 下流より
 掘削手法
 応急処置員

区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
対策内容	山地災害から流域を守る治山対策

実施主体：日高振興局林務課



位置図

・平取町字小平（小平地区）の荒廃した溪流において、治山ダム1基を新設した。



着手前

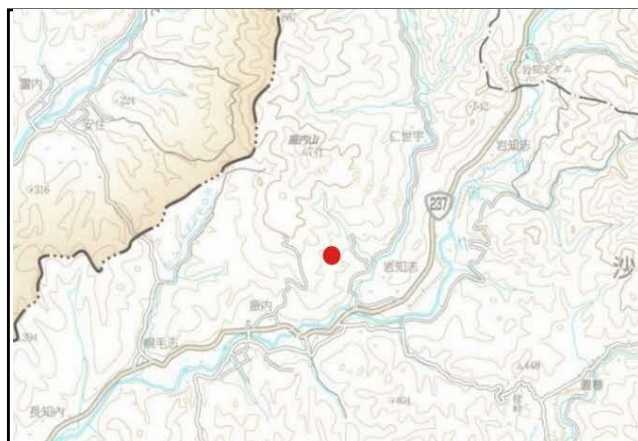


実施後

沙流川水系流域治水プロジェクトに基づく 令和7年度の流域治水の取組みについて

区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
対策内容	森林の有する水源涵養機能維持・向上のための森林整備

実施主体：沙流川森林組合
(日高振興局林務課)



位置図

平取町において、森林が有する公益的機能の回復保全を図るため、伐採跡地へ樹木の植林を実施。



着手前



実施後

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
対策内容	水防教育、防災意識の啓発活動

実施主体：日高振興局
地域創生部 危機対策室

・平取高等学校一日防災学校の様子



令和7年（2025年）8月29日に平取高等学校において、災害に対する普段からの備え（ローリングストック）の重要性や避難所における活動等に係る防災講話と避難所運営ゲームD0はぐ等を実施した。

・北海道地域防災マスター認定・フォローアップ研修（日高地区）の様子



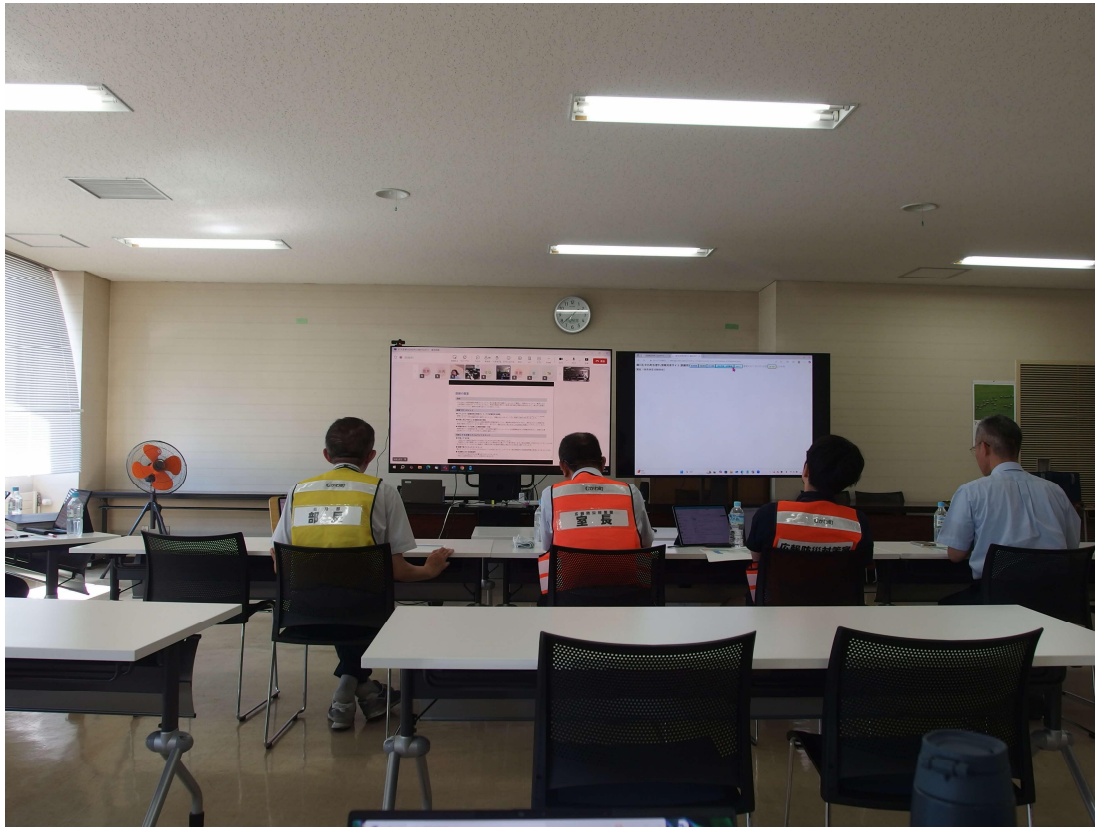
令和7年（2025年）7月29日に日高町で北海道地域防災マスター認定・フォローアップ研修会（日高地区）を開催し、9名が受講し、新たに4名を認定するなど地域の防災力強化に向けた取組を実施した。

各関係機関の対応策の取組状況について

（むかわ町）

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
対策内容	水害対応タイムラインの運用を推進

実施主体：むかわ町



令和7年7月24日実施 鷓川むかわ町水害タイムライン運用訓練の状況

- 1 鷓川むかわ町水害タイムライン活用に係る取組
 - (1) タイムライン運用訓練の実施
 (令和7年7月実施)
 →想定に基づき、気象・河川状況に応じた対応と適切にステージ移行するなどタイムラインの運用に習熟するための訓練を実施
 - (2) タイムライン事務局調整会議の開催
 (令和7年12月実施)
 →事務局が一同に会し、出水期対応や運用訓練について振り返りを行い、来年度に向けての取り組み等についての協議を実施

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
対策内容	水防教育、防災意識の啓発活動

実施主体：むかわ町



- 2 鷓川沙流川河川事務所との現地合同点検
(令和7年5月)
河川事務所担当職員と、鷓川の氾濫危険箇所
を現地確認、併せて情報共有、打合せの実施

令和7年5月29日実施 鷓川沙流川河川事務所との現地合同点検の状況

各関係機関の対応策の取組状況について (厚真町)

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
対策内容	水害対応タイムラインの運用を促進

実施主体：厚真町

■役場職員を対象としたタイムライン勉強会の実施



第1回勉強会



第2回勉強会

タイムライン勉強会の概要

- ①実施時期
令和7年6月に2回実施
(各部署の負担にならず、かつ、努めて多くの職員が参加できるように2回に分けて同一内容を実施)
- ②実施内容
 1. タイムラインに係る厚真町の取組み
 2. タイムラインの効果
 3. タイムラインについて
 - (1) タイムラインステージ
 - (2) 5段階の警戒レベル
 - (3) タイムライン運用の流れ
 - (4) タイムラインの見方
 4. 令和7年度の防災図上訓練の概要
- ③参加者数
 1. 第1回勉強会：45名
 2. 第2回勉強会：48名

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
対策内容	水防教育、防災意識の啓発活動

実施主体：厚真町

■住民(自治会)に対する風水害に備える講習会



豊丘自治会に対する講習会



上厚真自治会に対する講習会

(第1回コミュニティタイムラインワークショップとして実施)

講習会の実施内容の一例

- なぜ防災計画が必要なのか
- 厚真町で風水害は起こるのか
- 浸水想定区域図・ハザードマップについて
- 河川水位情報について
- キキクルについて
- タイムラインについて
- 命を守るために地域でできること・すべきこと

各関係機関の対応策の取組状況について (占冠村)

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
対策内容	水防教育、防災意識の啓発活動、住民参加による防災訓練の実施

実施主体：占冠村

①一日防災学校

(災害を想定したグループディスカッション)



②一日防災学校

(災害と防災に関する講話)



③一日防災学校

(大雨による浸水を想定した避難所への避難の様子)



④一日防災学校

(防災かるた (小学生))



⑤一日防災学校

(協力して生き残るゲーム L I F E (中学生))



⑥一日防災学校

(段ボールトイレ組み立ての体験 (小学生))



区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
対策内容	住民参加による防災訓練の実施

実施主体：占冠村

①占冠村防災訓練

(災害対策本部訓練)



②占冠村防災訓練

(赤十字による炊き出し配給の様子)



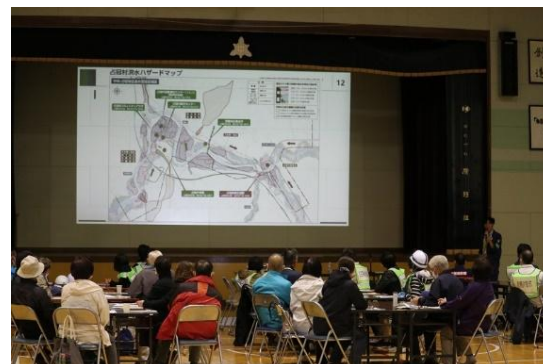
③占冠村防災訓練

(夜間訓練による避難路投光の様子)



④占冠村防災訓練

(北海道による講演の様子)



⑤占冠村防災訓練

(住民参加の個別避難計画作成の様子)



⑥占冠村防災訓練

(職員等による避難所開設訓練)



各関係機関の対応策の取組状況について (日高町)

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
対策内容	水防教育、防災意識の啓発活動、住民参加による防災訓練の実施

実施主体：日高町

①女性防火クラブにおける防災講話
(避難のあり方について)



②1日防災学校
(災害と防災に関する講話)



③とみくる（町有施設）オープンイベントにおける防災ブース
(非常食調理・試食)



④自主防災組織連絡協議会総会における講話
(室蘭地方気象台による気象に関する講話)



区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
対策内容	水害対応タイムラインの運用を推進

実施主体：日高町

令和7年度沙流川流域水害タイムライン運用訓練

沙流川流域水害タイムライン試行版を基に、各関係機関とタイムライン運用における認識の共有と習熟の向上を目的とした参画期間全体による運用訓練を実施。

訓練では、タイムラインのステージ1がすでに立ち上がっている場面から始め、各関係機関は、付与される状況や発表情報を訓練用の情報共有サイトで確認し、タイムライン表の記載に基づき、必要な情報伝達を実際と同じ方法で実施。



訓練の様子(日高町町災害対策本部)



訓練の様子(日高町災害対策本部)

各関係機関の対応策の取組状況について (平取町)

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
対策内容	水害対応タイムラインの運用を推進

実施主体：平取町

情報伝達、避難計画等に関する事項

沙流川流域水害タイムライン運等訓練の実施
タイムライン参画機関との継続した検討の実施



区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
対策内容	水防教育、防災意識の啓発活動、住民参加による防災訓練の実施

実施主体：平取町

平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

町内小中学校等における防災教室の実施



区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
対策内容	水防教育、防災意識の啓発活動、住民参加による防災訓練の実施

実施主体：平取町

平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

水防訓練・マイタイムライン作成講座の実施



区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
対策内容	水防教育、防災意識の啓発活動

実施主体：平取町

平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

平取町地域防災セミナーの開催



各関係機関の対応策の取組状況について

（森林整備センター）

区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
対策内容	森林の水源涵養機能維持・向上のための森林整備を行った

実施主体：森林整備センター

間伐等の森林整備を実施



着手前



実施後